

健康やがぐんま

vol. 35
2022 Winter

P2-3

群馬県における新型コロナウイルス感染症の状況と 県衛生環境研究所の対応

群馬県衛生環境研究所 所長 猿木 信裕

P4-5

- ・ドクターズコラム「私は毎年受けています」
- ・こんにちは！健康サポート課です

P6-8

財団からのお知らせ

- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン・ぐんま 2021 最終報告
- ・NHK NEWS ほっとぐんま630で放送されました
- ・令和3年度健康づくり研究助成「あさを賞」採用者 決定しました
- ・2021年第31回ぐんまマラソンに協賛しました
- ・ショッピングモールで乳がん検診を受けよう
(がん検診普及啓発キャンペーン)に参加しました
- ・群馬県がん患者団体連絡協議会
ご紹介⑧(ボン(がん)とよりそう会)



公益財団法人 群馬県健康づくり財団

年が明けて私達のウィズコロナの生活も3年目となりました。

今回は群馬県のコロナとの戦いの最前線に立つ県衛生環境研究所 猿木信裕
所長に県内最初の陽性者確認から現在までの状況などを教えていただきました。

群馬県における新型コロナウイルス感染症の 状況と県衛生環境研究所の対応

群馬県衛生環境研究所 所長 猿木 信裕

はじめに

群馬県では2020年3月7日に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の県内1例目のPCR陽性者が確認されました。その後、現在まで陽性者の増減が継続し、2021年7月下旬からは第5波というこれまでにない大きな波が押し寄せました（図1）。8月28日には1日366名の届出数となり、保健所の疫学調査に困難をきたし、医療機関、宿泊療養施設が逼迫し、一時自宅療養を余儀なくされた方も出てきました。9月に入り届出数が急減し、9月30日に緊急事態宣言が解除されました。

1 群馬県衛生環境研究所（衛研）の対応

2020年1月10日に新種のコロナウイルス（SARS-CoV-2）の遺伝子配列が公開され、当研究所でも1月末にはSARS-CoV-2のPCR検査が可能となり、3月7日に県内1例目のPCR陽性者を確認しました。4月になり、伊勢崎市内の住宅型有料老人ホームでPCR陽性者68名というメガクラスターが発生し、当研究所では、検体採取計画、保健所支援等、県、保健所等と連携して対応しました。県は同様のクラスターを二度と繰り返さないために検証報告書をまとめ、ホームページに公開しました（<https://www.pref.gunma.jp/contents/100160552.pdf>）。貴重な資料です。

2 衛研の検査体制（PCR検査）

衛研のウィルス検査担当者を3名から6名（兼務を含む）に増やし、土日や連休、年末年始もローテーションを組んで対応しています。最初は衛研のみでPCR検査を実施していましたが、医療機関や民間検査機関でもPCR検査機器の整備が進み、

抗原検査キットも導入され、検査数の増加に対応しています。図1に2020年3月から2022年1月2日までのCOVID-19の届け出保健所別報告数を示します。第3波では2021年第1週（1月4日～1月10日）の456人／週がピーク、第4波では第18週（5月3日～5月9日）の528人／週がピークであり、第5波では第33週（8月16日～8月22日）にピークを示し1,965人／週の陽性者でした。これは第4波の4倍近い数に上り、医療機関、宿泊療養施設は逼迫しました。その後、届出数は急速に減少し、9月30日に緊急事態宣言が解除されました。徐々に保健所業務、衛研業務も落ち着いてきましたが、11月の後半から東毛地域の事業所等でクラスターが発生し、保健所は対応に追われました。年末年始は人の移動も増えるので注意が必要です。

無症状の人でもPCR検査で陽性となり、ウィルス量が多い人がいます。濃厚接触者でも、検体採取が早いと陰性となり、その後症状が出て再検査をすると、陽性になる場合があります。今日の検査で陰性でも、明日、感染するかもしれません。

3 次世代シーケンサー（NGS）※1によるゲノム解析※2

衛研では、2020年3月から国立感染症研究所と連携して、SARS-CoV-2のゲノム解析を実施してきました。変異株が問題となり、衛研でも2020年12月からNGSによるゲノム解析を開始しました。図2に2020年12月から2022年1月2日までに採取された検体のゲノム解析の結果を示します。1月にはE484K変異のある陽性者が確認されました（後のR.1）。2月にはN501Y変異株（B.1.1.7、後の

※1 大量のDNA配列を高速で読む技術

※2 生物のゲノムのもつ遺伝情報を総合的に解析すること

アルファ株）が確認され、4月になるとN501Y変異株が増えてきたので、山本一太知事が4月8日の記者会見でE484K 変異株、N501Y変異株について記者発表しました。衛研では4月からN501Y変異のPCRスクリーニング、6月からL452R変異（後のデルタ株）のPCRスクリーニングを開始しました。

図2を見ると第3波では従来株（B.1.1.284、B.1.1.214）から徐々にR.1が増加し、第4波のアルファ株、第5波のデルタ株への変遷がわかります。26週以降は日本で主流のデルタ株（AY.29）が検出されるようになり、37週以降は全てAY.29となりました。このAY.29は世界の99%が日本で検出されている変異株です。11月になると南アフリカ等から報告のあったB.1.1.529系統の変異株はオミクロン株と命名され、監視が強化されています。群馬県では1月4日までに3名のオミクロン株陽性者（2

名は海外渡航歴あり、1名は市中感染疑い）が報告されました。オミクロン株は感染力が強いので注意が必要です。衛研では、L452R変異のPCRスクリーニングを再開し、陰性の場合はオミクロン株が疑われるので、ゲノム解析を強化して対応しています。

4 最後に

第5波は収束しましたが、群馬県でもオミクロン株が確認され、急速に増えています。これから寒さが厳しくなりますが、第5波の経験を生かし、第6波に備えて早めの対応をすることが大切です。現在はワクチン接種が進み、新たな治療薬も使えるようになってきています。警戒レベル2になりました。もうしばらく大規模な宴会は我慢して、マスク着用、手洗い、手指消毒、3密の回避、換気等、基本的な感染対策に注意しましょう。

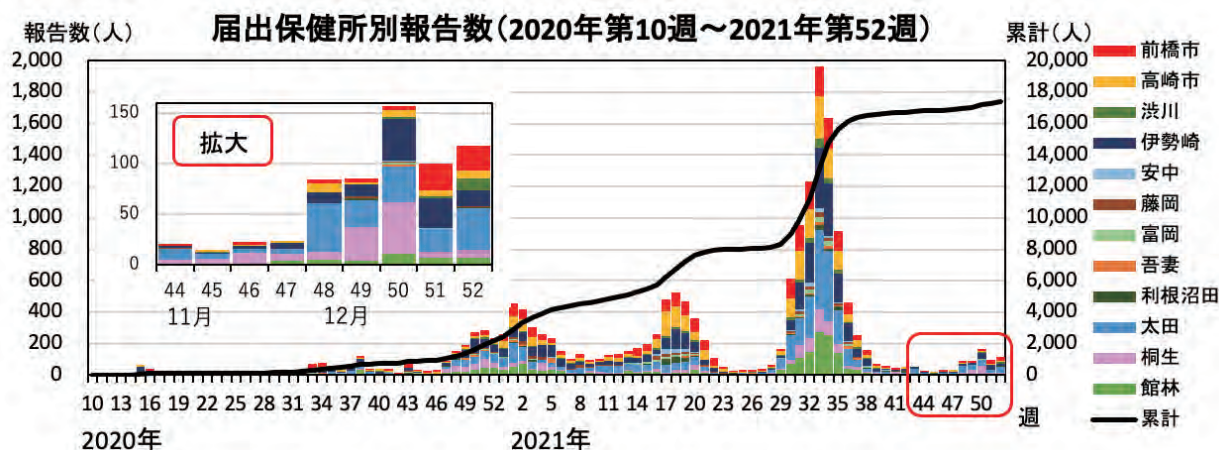


図1 届出保健所別COVID-19報告数

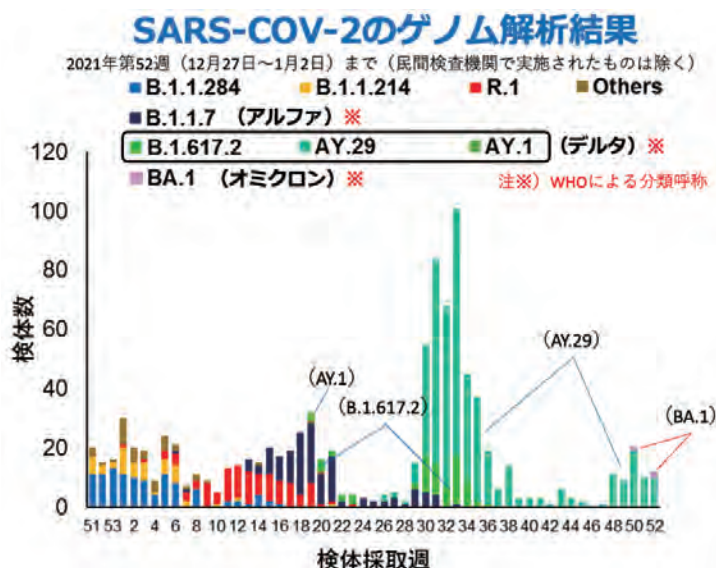


図2 群馬県衛生環境研究所におけるSARS-CoV-2のゲノム解析



プロフィール

さくらぎ のぶひろ
猿木 信裕

群馬県衛生環境研究所長／
群馬県立がんセンター医監

1983年群馬大学医学部卒業。群馬大学医学部附属病院麻酔科、日本赤十字社医療センター麻酔科、前橋赤十字病院麻酔科等、関連病院麻酔科の勤務を経て、1998年群馬県立がんセンター麻酔科部長、同手術部長、同副院長、2012年同院長を経て、2015年より現職。医学博士。厚生省がん研究助成金による全がん協加盟施設の院内がん登録研究班の活動（2007年の全がん協加盟施設の部位別施設別5年生存率公表、2016年の10年生存率公表等）、がん登録への貢献が評価され、2021年日本対がん協会賞（個人）受賞。日本がん登録協議会理事長。

所属学会：日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会、日本公衆衛生学会等

資格：日本麻酔科学会認定指導医、日本ペインクリニック学会暫定専門医、社会医学系専門医、日本医師会認定産業医。



ドクターズ コラム



当財団の医師によるコラム

「私は毎年受けています」

群馬県健康づくり財団診療所 副院長 黒岩 敬

がんは1981年以降の日本人の死因の第一位です。2020年度の全死亡者のおよそ28%の方ががんで亡くなっています。厚生労働省の2019年度人口動態統計で、臓器別のがん死亡数を見てゆきましょう。男性では肺がん5万3338人、胃がん2万8043人、大腸がん2万7416人、前立腺がん1万2544人。女性では大腸がん2万4004人、肺がん2万2056人、胃がん1万4888人、乳がん1万4839人、子宮がん6804人となっています。とても多くの方が、がんで亡くなられています。これを減らすために、各がん検診が行われていますので、しっかり受診しましょう。

一方、がん検診が行われていない、膵臓・肝臓・胆道・腎臓はどうでしょうか？男性では、膵臓がん1万8124人、肝臓がん1万6750人、胆道がん9341人、腎臓がん5939人となっています。女性では膵臓がん1万8232人、肝臓がん8514人、胆道がん8583人、腎臓がん3436人となっています。やはり多くの方が、お亡くなりになっている現実があります。これらの臓器は、お腹の中にあり簡単に検診ができない。さらに病気が進んでからじゃないと症状が出ない。ですから、発見が遅れやすい病気になってしまっています。

そこで、腹部エコー検査。すなわち腹部超音波検査に注目です。

この検査は、肝臓・胆のう（胆道）・膵臓・腎臓・脾臓・腹部血管などを簡単に検査できる非常に優れた画像検査です。人間の耳には聞こえない高い周波数の音（超音波）を検査装

置から発信し、身体の表面から当て、体内を伝わり臓器にあたって跳ね返ってくる「こだま＝エコー」を画像にする検査です。超音波は、海の中を調べるソナーとして100年ほど前から利用されていますが、医療への利用は1950年ごろから始まったようです。そして、非常に優れた画像診断検査として現在も進化しつづけています。

腹部エコー検査では、患者さんは空腹で横になって検査を受けます。肝臓・胆のう（胆道）・膵臓・腎臓・脾臓・腹部血管などをモニターに映し出して画像を記録し、異常がないか調べます。見つかる病気は、良性腫瘍、悪性腫瘍、胆石、胆のうポリープ、腎結石、のう胞、脂肪肝、腹部大動脈瘤など様々です。

腹部エコー検査は、お腹の中の複数の臓器を同時に調べることができ、身体に負担が殆ど無く安心して検査を受けていただけるという大きな利点があります。一方、胃や大腸にあるガス・肺の空気・骨などの後ろが見えないという弱点があります。そこで、患者さんに姿勢を変えてもらい、装置の操作を工夫して検査するようにしています。（体型・臓器の位置・体内のガスの分布のため、見えない部分が生じることもあります。）

さて、難しい話になりますが、臨床医学では「エビデンス」つまり検査や治療が病気に有効であると証明することがとても重要です。このエビデンスの確立には、複数の大規模な臨床研究が必要になり、とても時間がかかります。がん検診は、このエビデンスに基づいて行わ

れているわけですが、腹部エコー検査に関しては、エビデンスは確立されていません。ですから国が行う対策型検診として腹部エコー検査は、今現在は採用されていません。

一方いくつかの学会で腹部エコー検査の有用性は認められていて、病院などを中心に多くの方が検査を受けられています。さらに、任意型検診つまり人間ドックの項目として採用されていますので、すでに腹部エコー検査を受けておられる方も多いと思います。

正確な数字は統計には出てきませんが、腹部エコー検査で病気が見つかり、適切な治療により回復された方の数は相当数おられます。現場の医師はその事実を実感しています。

この機会に、ご自身の検診に腹部エコー検査が入っているか見てみましょう。もしも腹部エコー検査を受けたことがないという方や、見えないお腹の臓器をチェックしたいと思われた方は、ぜひ次回の人間ドックなどの検診で腹部エコー検査を受けることをご検討ください。

もちろん私は、今年も来年も、腹部エコー検査を受けます。



「健康情報☆つたえ隊」はお休みします

連載 vol.4

私たちが会った生活習慣改善成功者をご紹介しますコーナーです

あなたの
健康サポーター

こんにちは! 健康サポート課です

ケース4：タバコがやめられない

56歳 男性 会社員 妻と子供の3人暮らし。喫煙歴 30本／日 36年間。
何度が禁煙をしたことがあるが、いつも飲み会の席で吸って挫折。



タバコがどんどん高くなっているし吸える所も減ってきてから、やめたいと思っているけど、なかなかやめられなくて…。

自力で禁煙するのは大変ですね。「禁煙外来」をご存知ですか。薬の力を借りながら禁煙するので無理なくできると思いますよ。一度受診してみてもいいですか。



そうですね…。でも、いままで何度が禁煙を試みたけど成功しなくて、もう自分には無理なんじゃないかと思って。

これまで何度も禁煙にチャレンジしている人こそ、最もゴールの近くにいますよ。



けど、ふだん医者にかかったことがないから、どこに行ったらいいのかわからないなあ。



よりよい生活習慣を目指すあなたの伴走者、保健師のトモコ 伴子。(年齢・体重：非公表)

「禁煙外来」はネットで検索できます。自宅近くで見つかるのもいいですが、12週で5回受診しますので、仕事帰りに寄れる職場の近くもおすすめですよ。



3ヵ月後



いやあ、本当にやめられるなんて思ってたよ。今じゃタバコの煙が不快に感じるんだからびっくりだね!

ステキです☆



Tomoko's Point

禁煙は「いまさら」と考えるのではなく、「これから」と考えましょう。タバコはいつやめても「遅い」ということはないのです。

禁煙外来は、一定の条件を満たせば健康保険等を使えます。

財団からのお知らせ

リレー・フォー・ライフ・ジャパン・ぐんま 2021最終報告

今年9年目を迎えたリレー・フォー・ライフ・ジャパン・ぐんまは、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からリレーイベントが中止となりました。

台風の影響により中止となった2019をいれるとリレーイベントの中止は3年連続となりますが、それでもリレー・フォー・ライフ・ジャパン・ぐんまの灯火を絶やすことのないよう、できる限りの活動をしてきました。「がん患者支援とがん征圧」を目的としたリレー・フォー・ライフ本来の趣旨に賛同する多くの企業や団体、個人の方から、今年も多額の協賛金・募金等をお預かりしました。

コロナ禍という大変な状況下で、このように多くの御協力をいただきました皆様には、心より感謝申し上げます。

お預かりしました協賛金・募金は、経費を除き、(公財)日本対がん協会に寄付され、がん医療の発展や無料がん相談、検診の啓発に役立てられます。

募金総額：4,211,268円 (昨年 3,962,454円)



NHK NEWS ほっとぐんま630で放送されました

最近、「新型コロナウイルス感染症の流行によるがん検診受診率の低下が起きている」として、マスコミ等で報道されていますが、NHKのニュース番組がコロナ禍でのがん検診の重要性について取り上げることになり、当財団も取材を受けました。当財団内で実施された前橋市の総合健診の様子や、検診に訪れた方へのインタビュー、胃・胸部検診車の中などが撮影され、後日NHK放送局「ほっとぐんま630」で放送されました。



NHK取材の様子

令和3年度健康づくり研究助成「あさを賞」採用者 決定しました

県民の健康増進又は疾病予防等健康づくりに役立つ調査研究に対して助成を行う健康づくり研究助成「あさを賞」の選考委員会が令和3年12月10日(金)に開催されました。

審査の結果、11課題の応募の中から、下記の8課題が採用されました。

この研究の結果は、今後当財団ホームページ等で公開する予定です。

No.	氏 名 (所属)	研 究 課 題
1	関根 恵理香 (高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科)	発達障害児・者の思春期のきょうだいの体験および体験に影響を与える要因
2	松本 竹久 (群馬大学大学院保健学研究科)	群馬県内の河川水に存在する薬剤耐性細菌の実態調査
3	中川 和昌 (高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科)	ノルディックウォーキングが歩行パラメーターおよび身体機能に及ぼす影響
4	木山 慶子 (群馬大学共同教育学部)	群馬県における障害のある子どもたちの体力・運動能力および運動習慣の実態と課題
5	五十嵐 博 (県立県民健康科学大学診療放射線学部)	医師の働き方改革に伴う診療放射線技師の業務拡大と告示研修に関する調査研究
6	小林 雄斗 (群馬医療福祉大学リハビリテーション学部)	群馬県下における理美容院との協働に向けた質問紙調査
7	古賀 康彦 (群馬大学大学院医学系研究科呼吸器・アレルギー内科)	群馬県におけるPM2.5暴露と特発性肺線維症の因果関係の検討
8	松永 安由 (高崎健康福祉大学農学部生物生産学科)	レジオネラ属菌の迅速診断培養法の検討

(敬称略、順不同)

2021年第31回ぐんまマラソンに協賛しました

令和3年11月3日(水・祝)正田醤油スタジアム群馬をメイン会場に行われた第31回ぐんまマラソンに協賛しました。例年ブースを出展し、がんに関するリーフレットを配布するなどして、参加者や来場者にごん検診の受診を呼びかけてきました。コロナ禍のため昨年からブース出展はありませんが、今年も当財団から8人の職員が10kmマラソンに出場、全員が元気にゴールしました。



ぐんまマラソン出場の職員

ショッピングモールで乳がん検診を受けよう(がん検診普及啓発キャンペーン)に参加しました

今日、日本人の2人に1人がかかり、3人に1人が死亡すると言われるがんは、早期発見、早期治療が大切です。そのためには定期的ながん検診の受診が重要ですが、現在、新型コロナウイルス感染症の流行によるがん検診受診率の低下が問題となっています。

これを受け、群馬県では12月16日(木)イオンモール太田において近隣市町村の住民を対象とした乳がん検診を実施しました。同時に大規模ながん検診普及啓発キャンペーンを実施、当財団も共同でキャンペーンを行い、来店者に「がん検診を受けましょう」と呼びかけました。

当日は多くの女性が乳がん検診を受診、また民放テレビ局の取材も入るなど、がん検診受診率に関する問題への注目度の高さがうかがわれました。



ショッピングモールけんしん事業

群馬県がん患者団体連絡協議会 ご紹介⑧

8 ポン(がん)とよりそう会

ポン(がん)とよりそう会は、がん患者の社会復帰をサポートするための少人数のがんサロンです。

今年度よりサロン参加とzoom参加のハイブリッド型の参加形態にして偶数月に抗がん剤後の頭皮のお手入れ方法や育毛方法などを美容師で全身脱毛体験者がアドバイスさせていただきます。

また、同時にヘアドネーション(子供たちに医療用ウィッグを提供する)の活動もさせていただきます。

がんになっても前向きに生きるそんなサポートができればと思い日々笑顔で活動しています。

●開催場所：桐生市(ビューティーサロン丹羽)

●日時：毎月第三火曜日(8月・12月は、お休み) 13時から17時まで(出入り自由)
サロン形式とzoomでのハイブリッド型 偶数月(2.4.6.10.月) 13時から育毛講座開催
ハートフル美容師 渡邊 明子

携帯：09015396743 メール：rate2710@gmail.com お気軽に連絡頂けたらと思います。

※私たちの会では、がんのことをポンと呼び、怖い存在ではないんだよと認識しながら日々寄り添っています



編集 後記

あけましておめでとうございます。本年も「健やかぐんま」をよろしくお願いいたします。
寒かった年の瀬、「風花が飛んできた」と他県出身の友人に言ったらキョトン。調べる
と「風花(かざはな)」は方言ではないようですが、「雪が山から飛んできて花びらのよ
うに舞う様子」は山に囲まれ空っ風が吹く群馬ならではの光景のようです。

強風には閉口しますが、雪の花が見られるのは群馬県民の特権なのかもしれません。(M)

